

野生動物管理システムハンドブック

ニホンザル・ニホンジカの

総合的な被害対策のすすめ方

平成24年3月

新たな野生動物対策手法確立事業協議会編

はじめに

野生鳥獣による農作物等の被害が全国的に拡大し、その被害金額は毎年約200億円前後で推移している。さらに、野生鳥獣による被害は、農業者の営農意欲の低下をもたらし、耕作放棄地が増加する一因ともなっている。

農林水産省生産局では、野生鳥獣による農作物被害対策を効果的に進めるため、野生鳥獣の生態や対策技術を普及する教材として、2005年度（平成17年度）に「野生鳥獣被害防止マニュアルー生態と被害防止対策（基礎編）」を、また2006年度（平成18年度）から実践編として、「イノシシ、シカ、サルー実践編ー」をはじめとして6編のマニュアルを作成した。これらのマニュアルによって、わが国に生息する主要な野生鳥獣を対象とした現在の被害対策技術はほぼ網羅され、対策技術指導者の知識等の向上や育成に寄与するとともに、実際の被害現場における対策の指導および計画の作成などに活用されている。

一方で、実際の対策現場では、加害する鳥獣の組み合わせや地域の環境あるいは社会状況などに応じて、これらの対策技術を適切に組み合わせる必要がある。また、ニホンザルやニホンジカのように集団で広域に移動する動物の対策では、集落対策から県域を越える広域対策までを連携させることが求められる。さらに、これらの動物は、近年になって住宅地への侵入による人身被害や高山帯における生態系への影響などを引き起こし、農作物被害対策にとどまらない多面的な対応が迫られている。

こうした現場では、個別の被害対策技術にとどまらず、野生鳥獣対策の基本である個体群管理、被害管理（防護対策など）、生息環境管理の主要な対策をシステムとして統合し、総合的に継続性のある対策をマネジメントする必要がある。そこで本書では、とくに被害対策の進め方が難しいとされるニホンザルとニホンジカを対象として、必要な野生動物管理システムと総合的な対策の進め方について解説するとともに、こうした手法で被害対策取り組んでいる地域を調査し、それぞれに地域におけるシステムを紹介した。これらの内容は、実際に総合的な対策をマネジメントする専門技術者として期待される普及指導員、市町村担当者、JA担当者等の方々を対象に執筆された。したがって、前述のマニュアル等ですでに紹介されている加害動物種の生態や個別的な対策技術等の詳細については割愛した。

第1章では、ニホンザルおよびニホンジカによる農作物被害の現状、生態的特性、それに基づく現状の被害対策の課題と方向を整理した。

第2章では、ニホンザルおよびニホンジカの総合的な被害対策として、野生動物管理システムによる対策の考え方と取り組み方の手順を示した。

第3章では、本委員会で調査した5地域について、第2章に示した野生動物管理システムの枠組みを理解し、活用するための事例として示した。今回の調査は、ニホンザル被害に対する対策の4地域とニホンジカ被害に対する対策の1地域を対象として取り上げた。

これらの地域は、対策の歴史的な経過、生息状況、被害状況、地理的条件などが全く異なっている。本委員会では、各地域の対策やその組み合わせに着目するだけでなく、効果的な被害対策のシステムが築かれた経緯、実行体制、成果および課題を中心に調査した。

その調査結果は、調査対象地域の概要と特徴、取り組みの経緯、対策の内容、実施体制、成果と課題などに整理し、他地域において総合的な被害対策を進める上での教材となるように取りまとめた。

第4章では、調査事例を含めた問題解決への総括を示した。

本書が、各地域における対策の指導者に参考として十分活用され、対策の効果が上げられることを期待する。

対策手法確立検討委員会委員一同

目次

はじめに

目次

第1章 ニホンザル・ニホンジカによる被害対策の現状

1. ニホンザル・ニホンジカの被害の特徴	2
(1) ニホンザルの生態・特性	2
(2) ニホンジカの生態・特性	3
2. 被害対策を進めるうえでの課題と方向	4
3. 調査対象地域と調査内容	5
(1) 調査の考え方	5
(2) 調査地と調査内容のポイント	6

第2章 総合的な対策手法と個別課題の解決策

1. 野生動物管理システムによる被害対策のすすめ方	10
(1) 野生動物管理システムとは	10
(2) 3つのスケールで対策を考える	12
2. 野生動物管理システムによる対策をすすめるための課題・ポイント・ヒント	15
(1) 現状把握	15
(2) 計画の立案	16
(3) 対策の実行	19
(4) 計画の見直し	22

第3章 調査対象地域における調査内容

1. 青森県むつ市周辺におけるニホンザルの保護、防護対策	26
(1) 調査対象地域の概要と特徴	26
(2) 取り組みの経緯	27
(3) 対策の内容	36
(4) 実施体制	42
(5) 成果と課題	46
2. 福島県福島市内におけるニホンザルの群れ管理対策	52
(1) 調査対象地域の概要と特徴	52
(2) 取り組みの経緯	53
(3) 対策の内容	56
(4) 実施体制	60
(5) 成果と課題	63
3. 神奈川県西湘地域におけるニホンザル追い払い手法	66
(1) 調査対象地域の概要と特徴	66
(2) 取り組みの経緯	68
(3) 対策の内容	74

(4) 実施体制	75
(5) 成果と課題	77
(6) 資料	81
4. 佐賀県におけるイノシシ対策で対策で培われた支援体制を活用したニホンザルの予防的対策	85
(1) 調査対象地域の概要と特徴	85
(2) 取り組みの経緯	89
(3) 対策の内容	92
(4) 実施体制	96
(5) 成果と課題	97
5. 神奈川県丹沢地域のニホンジカの総合的保護管理対策	99
(1) 調査対象地域の概要と特徴	99
(2) 取り組みの経緯	102
(3) 生息状況や被害状況等の変遷	105
(4) 対策の内容	110
(5) 実施体制	117
(6) 第2次計画の対策の成果と課題および第3次計画の概要	118
(7) 保護管理計画見直しのプロセス	122
第4章 総括	127